

# 2015年度経営プラン Q1フォロー

2015年7月

古河電気工業株式会社

取締役 財務・調達本部長 荻原 弘之

## 将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

## 著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

古河電気工業株式会社

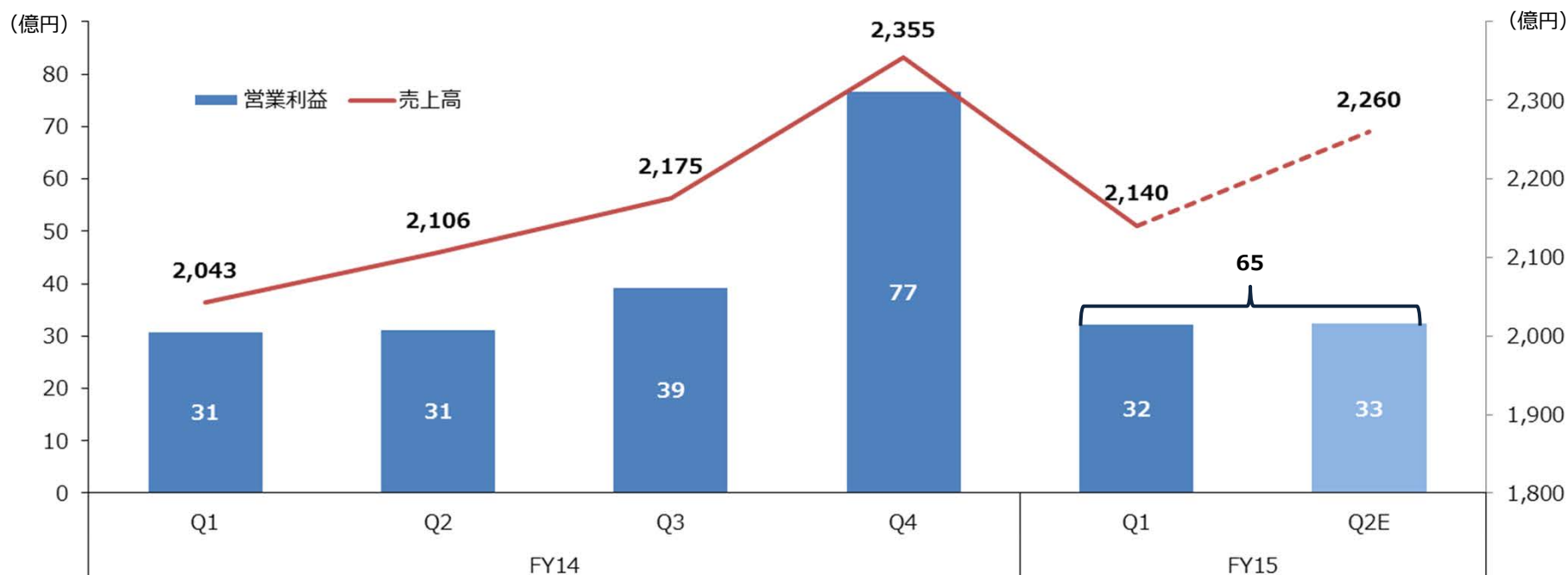
# 1. FY15Q1決算…概況

## ■ Q1業績は前年同期比で増収・増益

- ①情報通信の北米における光ファイバ・ケーブル事業、②エネルギー・産業機材の機能樹脂材事業、③電装・エレクトロニクスの電池事業、などが増益に貢献

## ■ Q2も増益傾向は継続する見込み

- Q2累計営業利益は5億円上乘せし65億円と予想を修正



# Intentionally Blank

---

# 1. FY15Q1決算…要約P&L

(単位：億円)

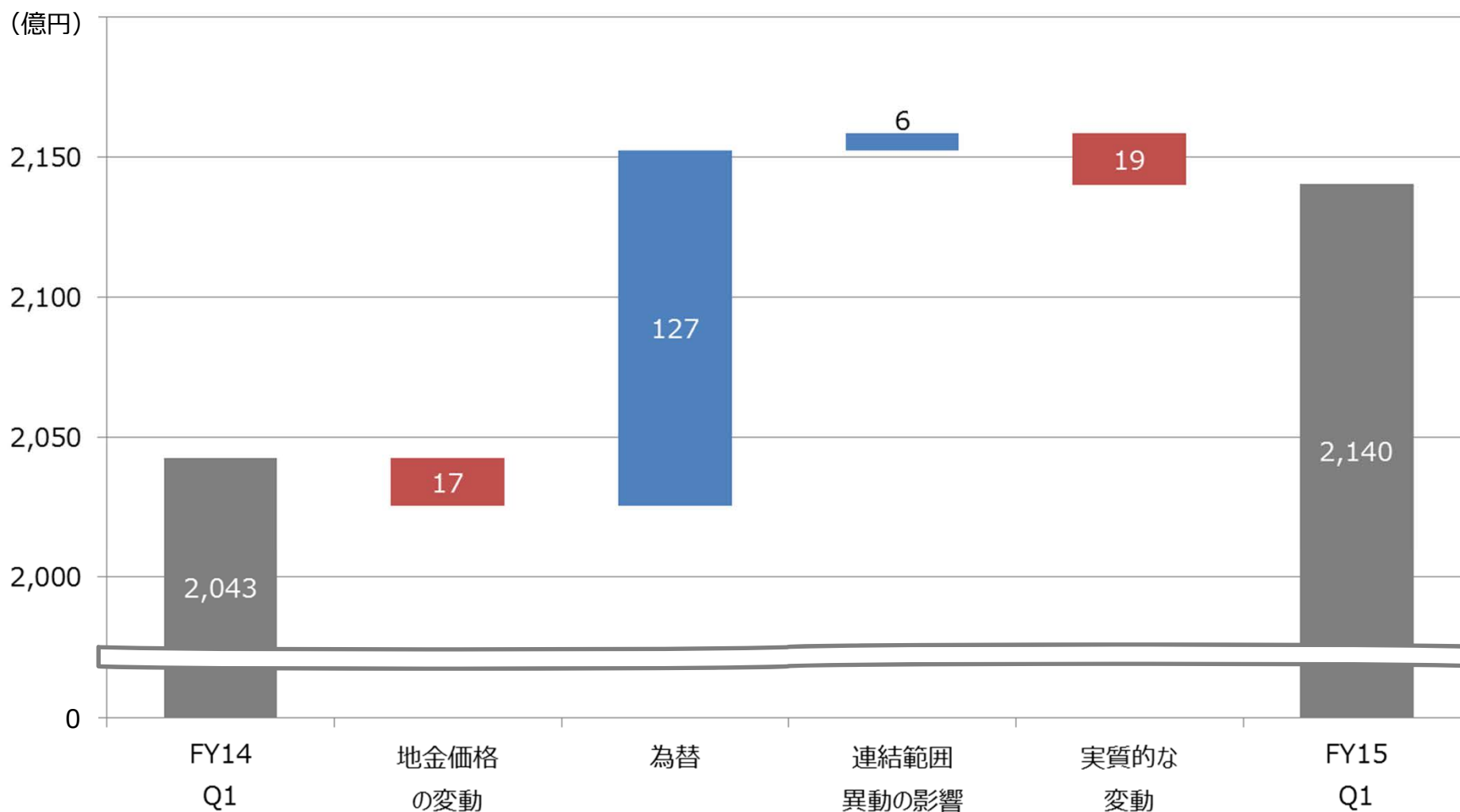
	FY14			FY15E			前同比増減		
		Q1	Q2		Q1	Q2E		Q1	Q2E
	a	b	c	d	e	f	d-a	e-b	f-c
売上高 (率)	8,678	2,043	2,106	9,100	2,140	2,260	422 4.9%	98 4.8%	154 7.3%
営業利益 (率)	179	31	31	230	32	33	51 28.7%	1 4.7%	1 3.7%
持分法投資損益	19	7	3	-	2	-	-	△ 5	-
為替損益	△ 1	△ 5	2	-	△ 1	-	-	4	-
経常利益 (率)	186	39	33	230	34	21	44 23.7%	△ 4 -11.2%	△ 12 -37.2%
特別損益	△ 24	△ 14	△ 20	△ 32	△ 8	4	△ 8	6	24
法人税等	67	18	△ 1	-	21	-	-	3	-
非支配株主に帰属 する当期純利益	21	6	3	-	6	-	-	△ 0	-
親会社株主に帰属 する当期純利益 (率)	74	1	11	100	△ 0	10	26 36.0%	△ 1 -	△ 0 -1.8%

# 1. FY15Q1決算…要約BS

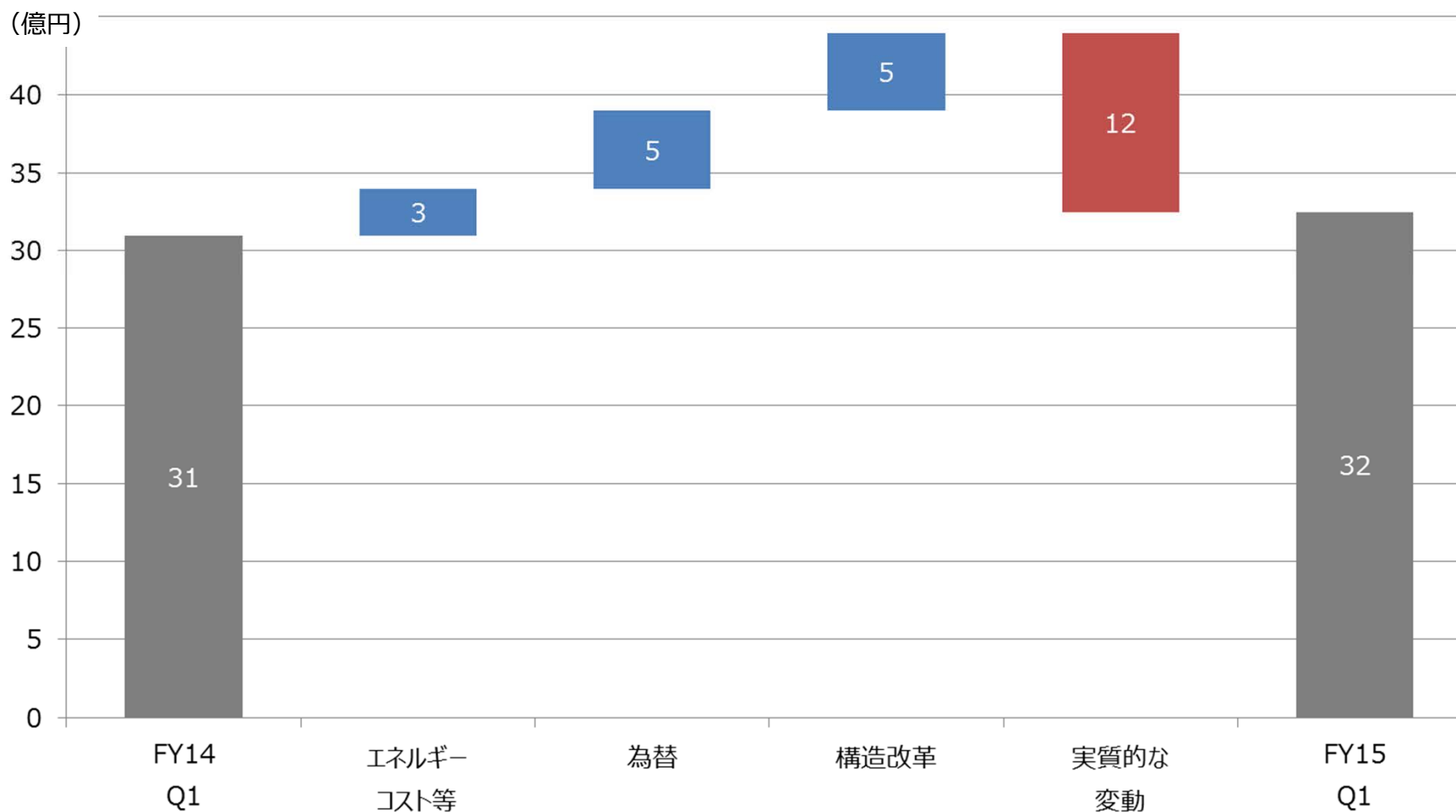
(単位：億円)

	13Q4末	14Q1末	14Q4末	15Q1末	増減
	a	b	c	d	d-c
総資産	7,148	7,188	7,341	7,331	△ 10
有利子負債	2,779	2,979	2,745	2,929	184
自己資本比率	24.8%	24.4%	26.0%	25.7%	-0.3%
D/Eレシオ	1.57	1.70	1.44	1.55	0.1
総資産回転率 (年換算売上高／総資産)	1.17	1.14	1.18	1.17	△ 0.0
ROA (年換算経常利益／総資産)	3.6%	2.1%	2.5%	1.9%	-0.7%
ROE	3.3%	-	4.0%	-	-

# 1. FY15Q1決算…売上高増減分析



# 1. FY15Q1決算…営業利益増減分析



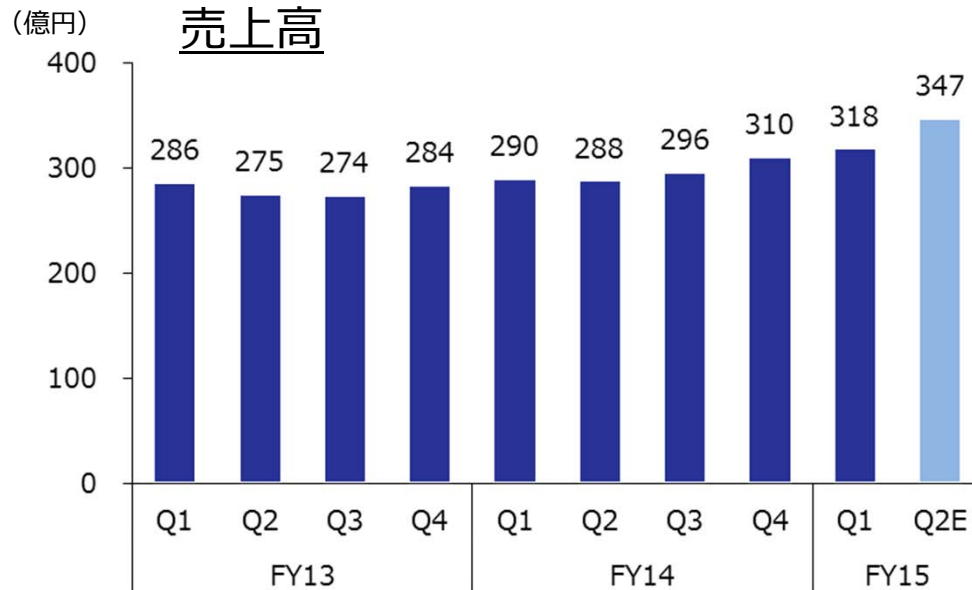


## 2. セグメント別売上高及び営業利益予想

(単位：億円)

上段：売上高 下段：営業利益	FY15 Q1	前同比 増減	FY15 Q2E	前同比 増減	FY15 Q1+Q2E	前同比 増減	前予比 増減	FY15E
	a	-	b	-	c=a+b	-	-	d
情報通信	387	10	413	39	800	50	40	1,550
光ファイバ・ケーブル	318	29	347	59	665	88	65	1,200
フォトニクス・ネットワーク	69	▲ 18	66	▲ 20	135	▲ 38	▲ 25	350
エネルギー・産業機材	696	▲ 16	764	60	1,460	44	▲ 50	3,060
電装・エレクトロニクス	795	87	825	88	1,620	175	80	3,270
金属	321	14	309	▲ 34	630	▲ 20	▲ 70	1,440
サービス・開発等	129	8	146	12	275	19	0	540
売上高	2,140	98	2,260	154	4,400	251	0	9,100
情報通信	10	▲ 4	12	0	22	▲ 3	0	60
光ファイバ・ケーブル	12	1	11	4	23	5	1	45
フォトニクス・ネットワーク	▲ 1	▲ 5	0	▲ 3	▲ 1	▲ 8	▲ 1	15
エネルギー・産業機材	8	3	11	1	19	4	0	47
電装・エレクトロニクス	22	3	18	▲ 7	40	▲ 5	0	140
金属	▲ 8	▲ 2	▲ 7	8	▲ 15	7	5	▲ 20
サービス・開発等	0	2	0	0	0	2	0	3
営業利益	32	1	33	1	65	3	5	230

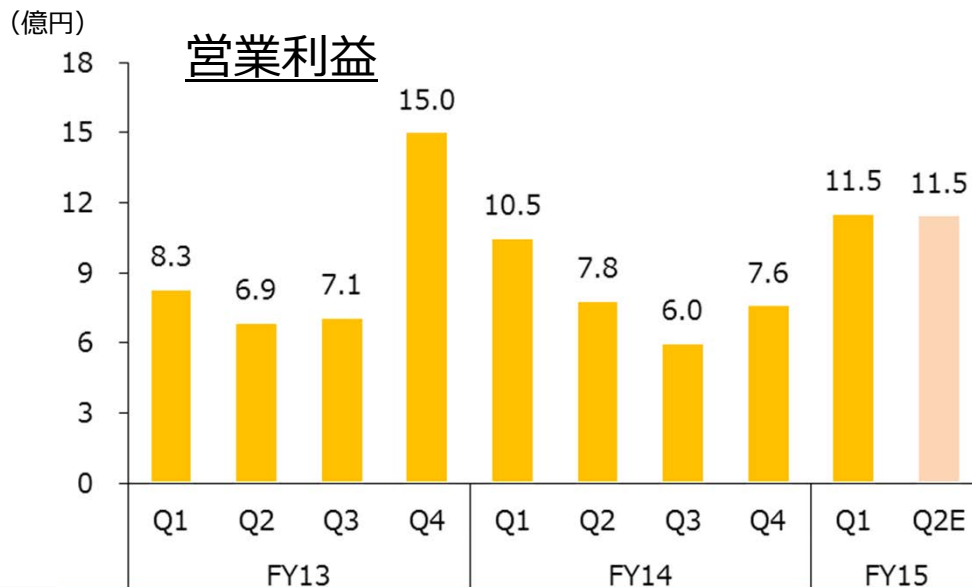
## 2. セグメント別…光ファイバ・ケーブル



### Q1の概況

前同比：14Q1⇒15Q1 +1.0億円

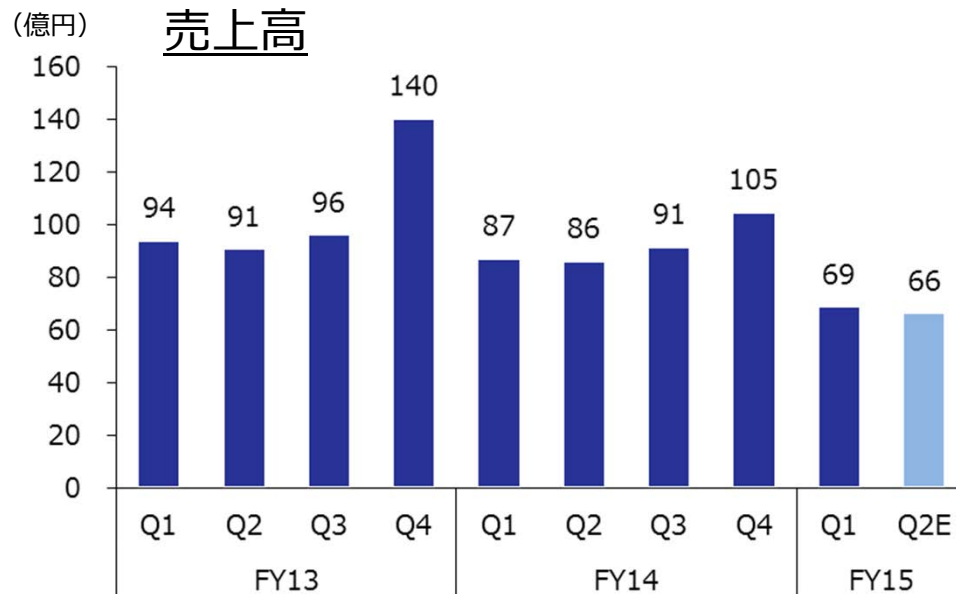
- 北米市場の需要が旺盛で米国OFS好調
- 輸出向けファイバも好調
- 一方ブラジルの景気低迷の影響でFISAは同国内で苦戦



### Q2の見通し

- Q1の傾向が継続する見込み

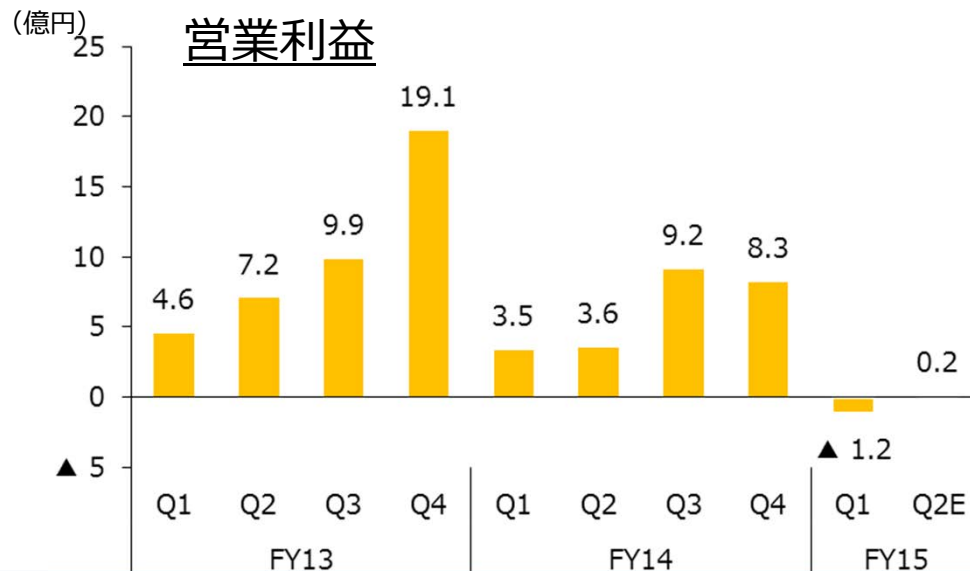
## 2. セグメント別…フォトニクス・ネットワーク



### Q1の概況

前同比：14Q1⇒15Q1 ▲4.6億円

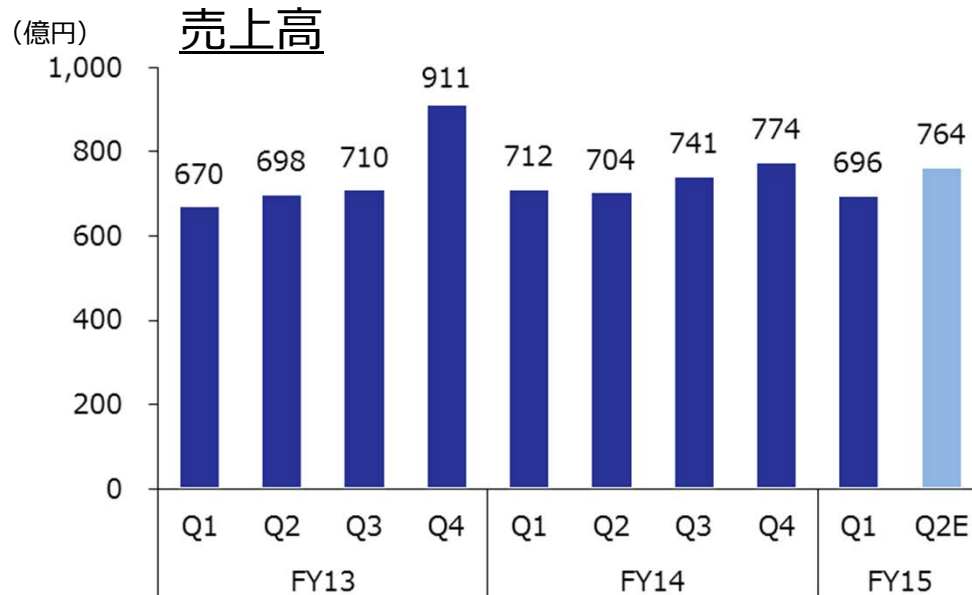
- タイにおける携帯電話関連工事の需要がほぼ終息
- デジタルヒーレント関連製品は売上伸長
- 国内のCATV、融着機関連が振わず



### Q2の見通し

- デジタルヒーレント関連製品は旺盛な需要に対応すべく、7月より増産
- 他はQ1の状況が継続する見込み

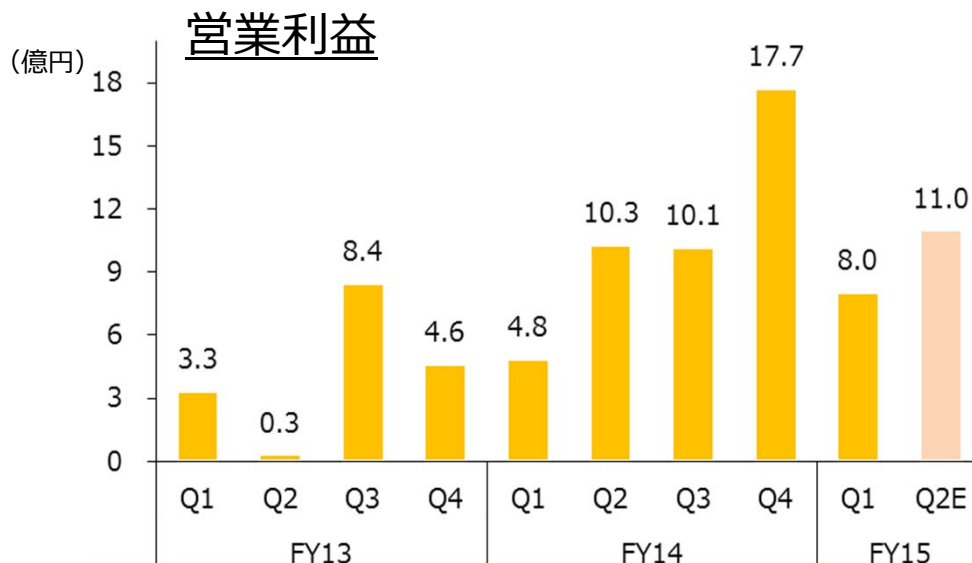
## 2. セグメント別…エネルギー・産業機材



### Q1の概況

前同比：14Q1⇒15Q1 +3.2億円

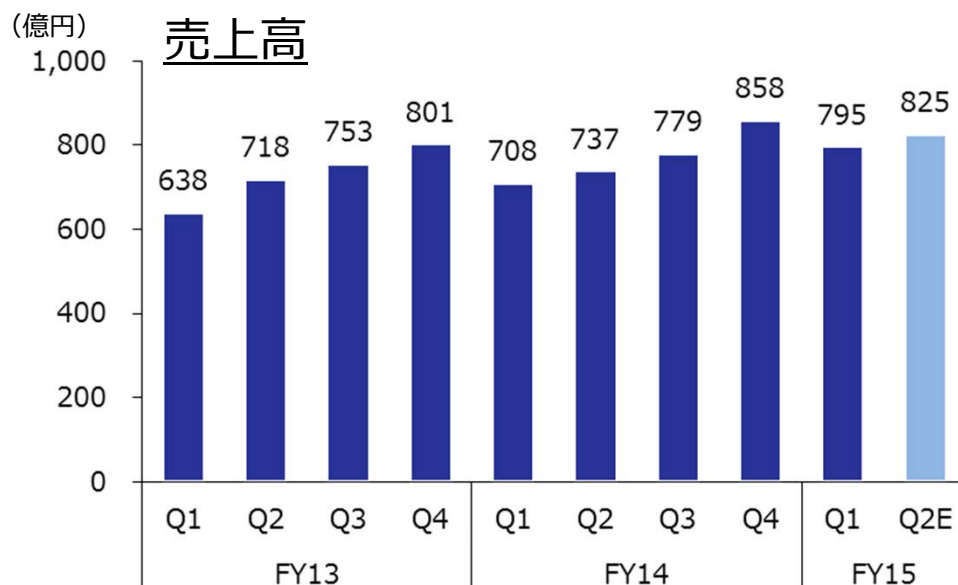
- 半導体製造用テープがスマートフォン需要増により売上増
- インドネシアのアルミ線需要が増加
- 機器用電線等の需要が増加
- 高圧電力ケーブルは国内外ともに低調



### Q2の見通し

- 中国の光ファイバ複合架空地線 (OPGW)、国内の電力部品、欧州のフォーム製品が伸びる見込み
- 他はQ1の状況が継続する見込み

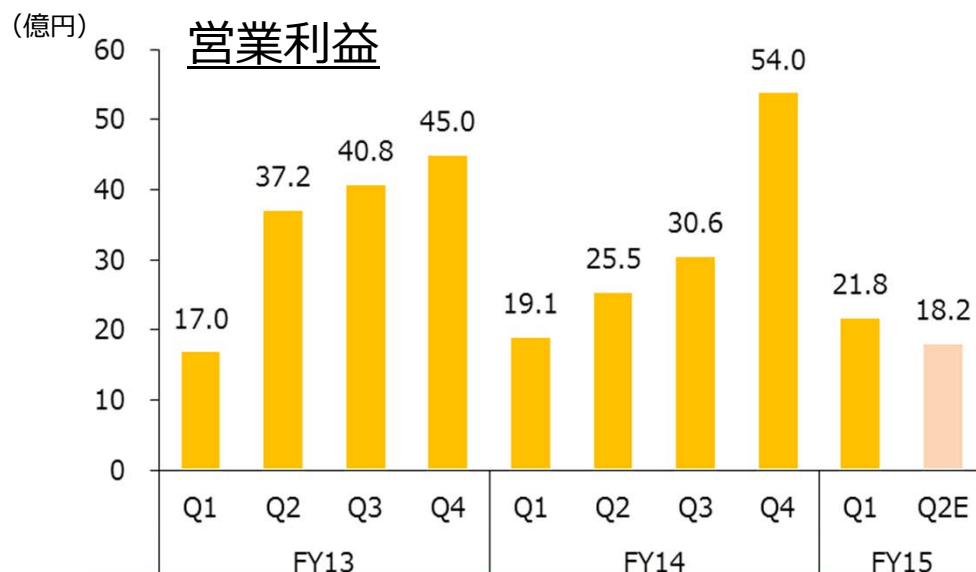
## 2. セグメント別…電装・エレクトロニクス



### Q1の概況

前同比：14Q1⇒15Q1 +2.7億円

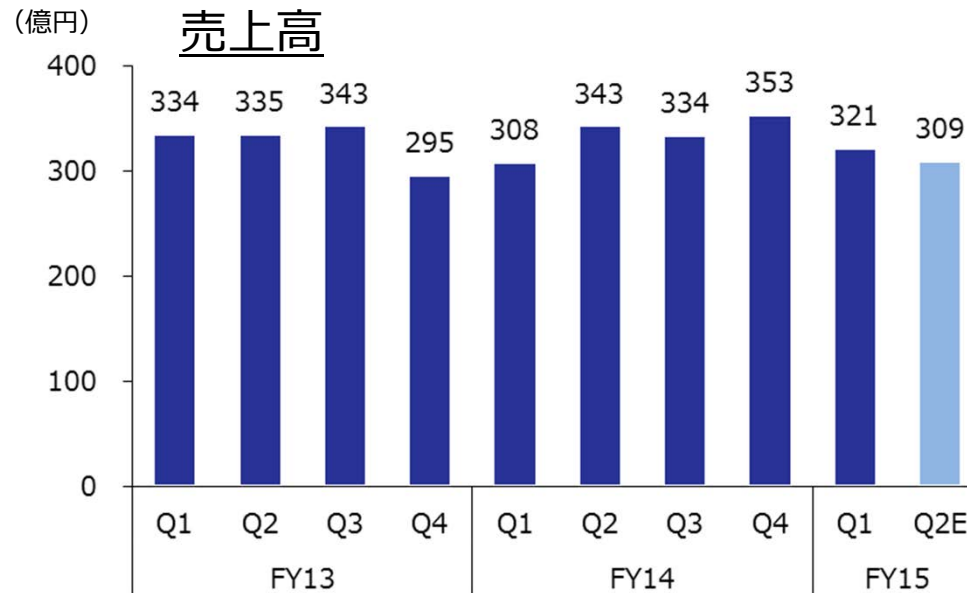
- 自動車部品は円安進行による輸入コストアップが影響
- 電池は国内・タイの補修用四輪電池が好調、エレクトロニクス関連製品も好調



### Q2の見通し

- 自動車部品は新規車種向けワイヤーハーネスが立ち上がる一方、北米向け事業でコスト増
- 他はQ1の状況が継続する見込み

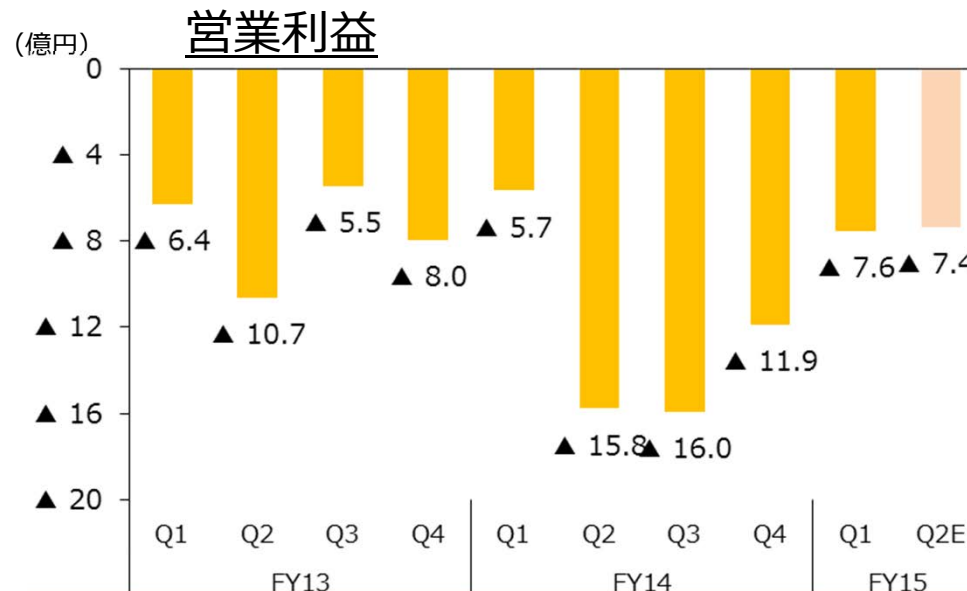
## 2. セグメント別…金属



### Q1の概況

前同比：14Q1⇒15Q1 ▲1.9億円

- 銅条は顧客在庫調整が続いたものの、1月の稼働再開から回復基調
- 銅箔は台湾の回路用は回復したものの、国内の電池用が低調



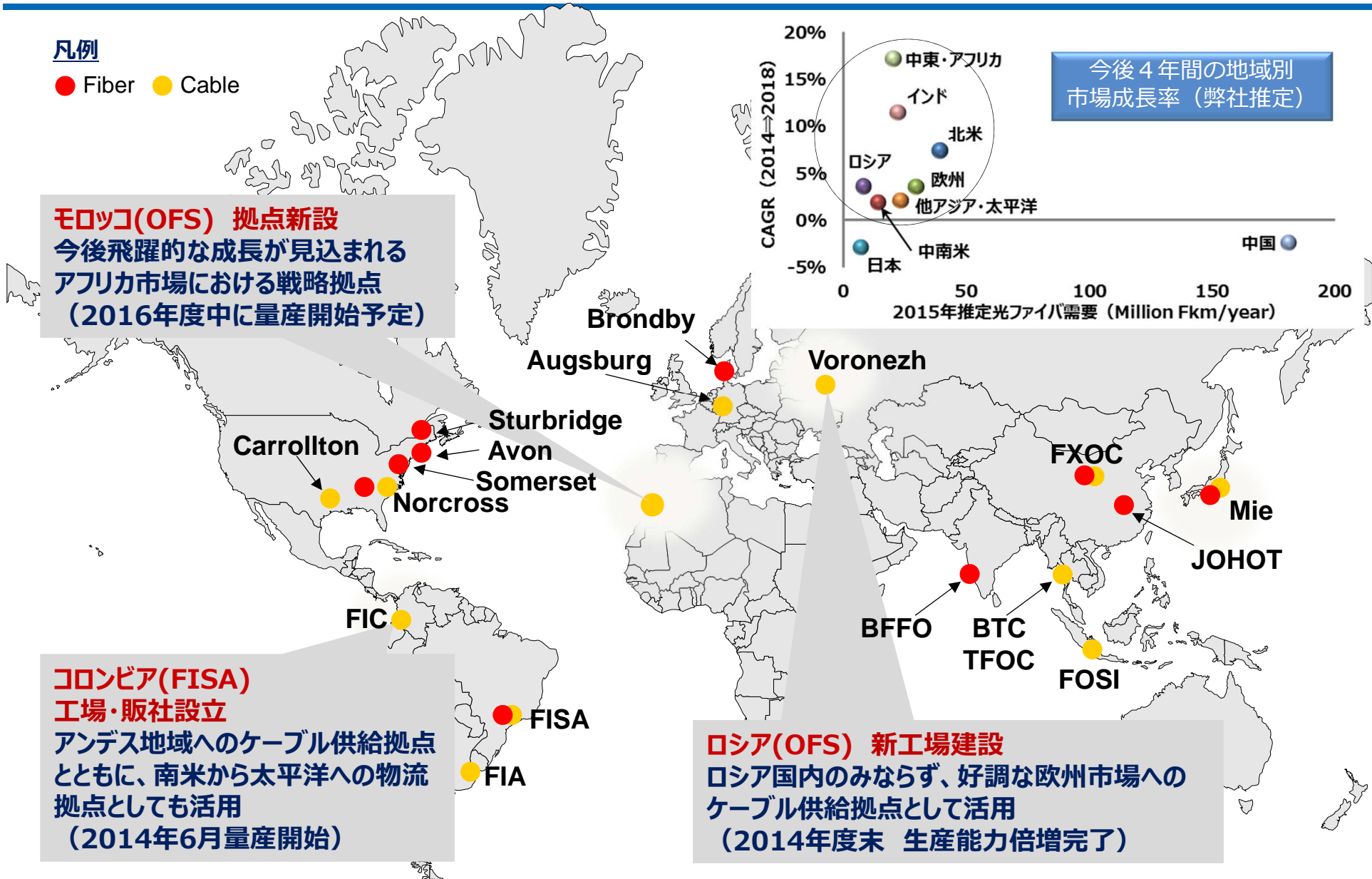
### Q2の見通し

- 銅条の回復基調は継続する見込み
- 銅箔はQ1の状況が継続する見込み、構造改革を推進
- 銅管は季節性で売上減の見込み

# 3. 光ケーブル拠点の拡充

凡例

● Fiber ● Cable



### 3. 金属事業における各種施策の進捗状況

#### 銅条・高機能材

- FY15Q4黒字化目標

- 生産数量の回復状況：  
FY14Q1比2割アップ（含む線・棒）
  - 需要の取戻し活動は順調
  - ※ 日光は水力発電の活用により、  
CO<sub>2</sub>排出量が当社同規模工場対比で  
半分程度
- 雪害復旧後の拡販戦略：  
『顧客サポートロジスティクスの充実』
  - 当社の短いリードタイムを活かし、  
当社在庫を顧客の拠点近くに確保
  - 在庫情報を共有しカンバン方式により、  
顧客の 1) 在庫削減  
2) 生産変動をバックアップ  
3) 地金リスクの低減 を実現

#### 銅箔

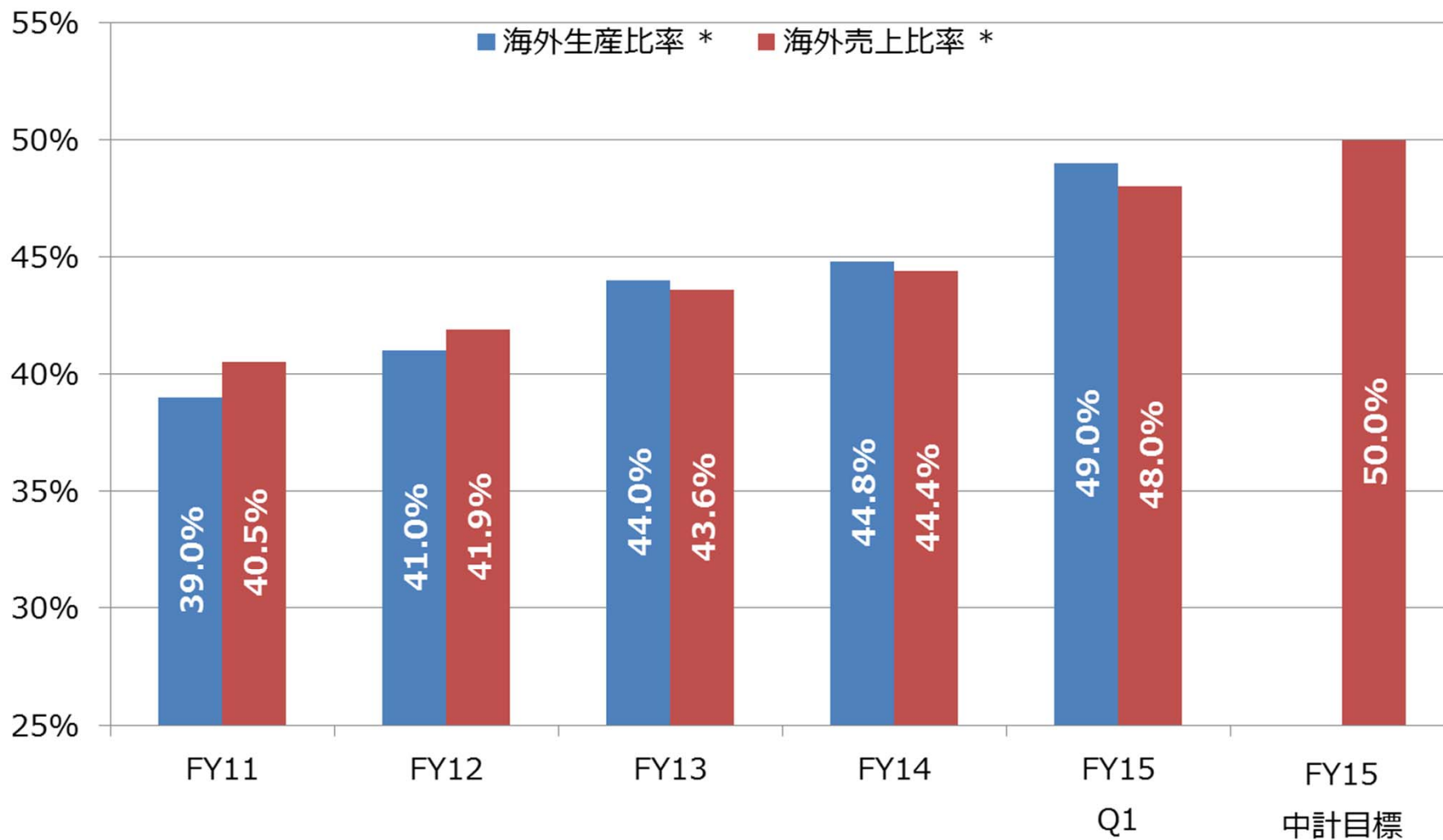
- FY16Q1黒字化目標

- 国内生産体制半減に向けた施策：  
生産設備の集約及び人員削減  
160名を年度内に完了予定
- 台湾の増量による収益改善が着実に進捗



# Appendix…生産及び売上の海外比率

## ■ 北米の光ファイバ・ケーブル事業等の伸張や円安進行で48.0%に拡大

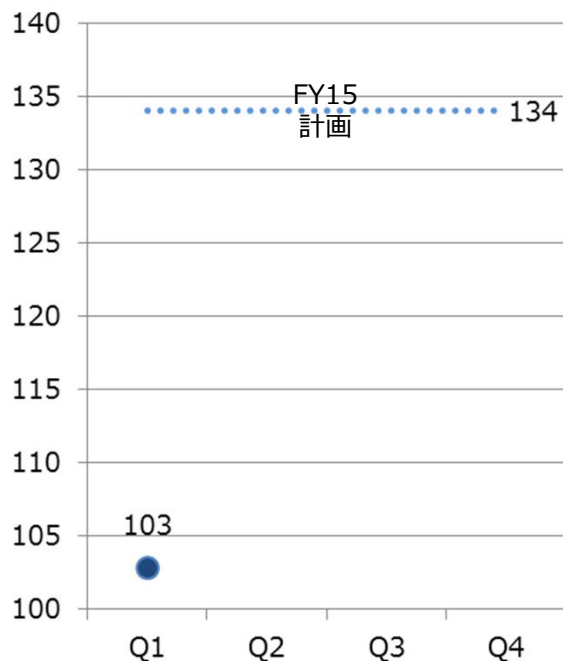
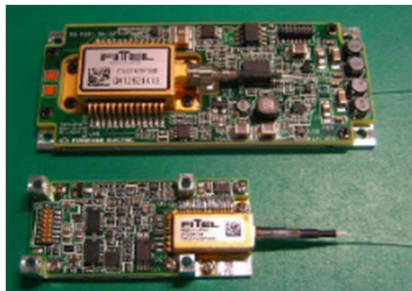


(注) 海外生産比率及び海外売上比率は、それぞれ旧古河スカイを控除し算出

# Appendix...戦略製品と売上数量トレンド

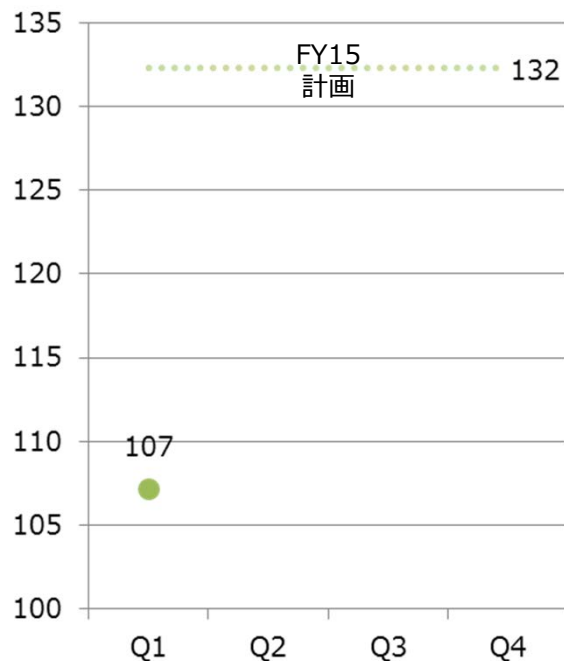
## ITLA/FBT

デジタルコヒーレント通信用集積型信号光源



## BSS

車載バッテリー状態検知センサー



## SRC

車載エアバッグ用コネクタ



(注：各製品ともFY14実績を100とする指数)

ご清聴ありがとうございました。

*Bound to*  *Innovate*